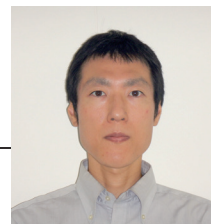


## 北アルプスの保全と流域防災

—— 神通川・高原川流域の安全と暮らしを守る

国土交通省 北陸地方整備局

神通川水系砂防事務所長 石井 崇



江馬東砂防堰堤群と直下に広がる飛騨市神岡町市街



### はじめに

神通川水系砂防事務所は岐阜県北部の奥飛騨地域に位置する標高3,000m級の北アルプス連峰を水源とする神通川水系高原川流域(蒲田川・平湯川・跡津川他・流域面積761km<sup>2</sup>)にて直轄砂防事業を実施しています。

高原川流域は全国でも有数な重荒廃地域であり、年間4～5mm隆起していると言われる北アルプス「穂高岳、槍ヶ岳」周辺は不安定な地質構造を呈し、活火山「焼岳」周辺には火山噴出物が厚く堆積するほか、急流河川という地形条件、多雨多雪地帯という気象

状況も相まって、大量の土砂が流出しやすい特性を持っています。そのため、幾度となく大規模な土砂災害が発生し、多大な被害を与えてきました。

そのような中、地域の方々は「飛騨の砂守(すなもり)」として土砂災害と向き合い、闘い続け、中部山岳国立公園に位置する奥飛騨地域は、国内でも有数の観光地として発達してきました。

近年、中部縦貫道・安房トンネルを中心とする道路交通網の整備や北陸新幹線の開業、さらには、歴史や文化を活かした町づくりの取り組み、廃線を利用した「レールマウンテンバイク

『Gattan GO!!』により、多くの観光客が訪れるとともに、ノーベル物理学賞受賞により脚光を浴びている「スーパーカミオカンデ」や、大型低重力波望遠鏡「KAGRA」など、世界の最先端をゆく研究拠点施設を有し、管内流域は注目を集めています。

このような中、流域の土砂災害に対する安心・安全を守り、地域発展を支える直轄砂防事業の責任は一層まわっていると感じています。

### 事業の概要

#### ①土砂流出対策

景観、親水性等に配慮しつつ、土砂流出を抑制・調節し、住民や観光客の安全性向上を図ることを目的に「小鍋谷第11号上流砂防堰堤群」や「江馬東町砂防堰堤群」などの整備を継続して実施しています。

令和2年7月豪雨出水では高山市奥飛騨温泉郷において国道や河川護岸が被災を受けたにも関わらず、これまでに整備した126基の砂防施設が効果を発揮し、昭和33年災害、昭和54年災害(家屋流出、土砂流出等の土砂氾濫被害が発生)と同程度もしくはそれ以上の降雨でしたが重大な土砂災害は発生せず、被害を未然に防止しました。



## ②流木対策

神通川流域では出水時に土砂とともに多量の流木が発生し、下流域の施設に大きな被害が生じています。近年では平成 11、16、18 年に富山湾で定置網の損傷など甚大な被害が発生しています。

当事務所ではこれまでに流木対策工 7 基を整備しており、引き続き「跡津川流域」等において流木対策工の整備を実施します。

## ③大規模土砂災害対策(危機管理)

岐阜県内の神通川、庄川上流域において大規模な土砂災害が発生した場合に備え、平成 26 年 12 月 1 日に高山市長を会長とする「神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会」を発足しました。

協議会では、日頃から顔の見える関係を構築するとともに、これまでに、「連携マニュアル(案)」を作成し、防災訓練等を定期的に開催するなど、安全安心な地域づくりのための備えを実施していきます。

## ④焼岳火山噴火緊急減災対策

「焼岳」は岐阜県と長野県の県境に位置し、噴火した場合は高山市、松本市を始めとする広範囲に及ぶ地域への影響が懸念されています。

特に大規模な火山泥流や火砕流が発生した場合は、甚大な被害が予想されます。このため平成 22 年度に「焼岳火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定しました。

今後引き続き監視・観測体制の充実、緊急ハード対策の準備、関係する他機関と連携を密に実施していきます。



活火山「焼岳」と蒲田川・平湯川

## ⑤飛驒の砂守ツアー

地域の方々と連携し、普段立ち入らない砂防堰堤などを巡り土砂災害との闘いの歴史を学びながら、全国有数の観光地として発展し続ける奥飛驒の魅力を満喫できるツアー「飛驒の砂守ツアー」企画・開催しています。飛驒市神岡町周辺巡る「砂守ノーベルコース」、高山市奥飛驒温泉郷周辺巡る「砂守ジオコース」の各コースでは、それぞれ地域の魅力を生かしたツアーとなっており、砂防事業を通じた

防災啓発と観光振興を行っています。

また、令和 5 年度は、昨今のインフラツーリズムの高まりから、砂防施設に特化した「奥飛驒 SABOめぐり」を試行しました。

## おわりに

砂防事業を通して次世代に豊かな自然の恵みを享受できるよう、地域の方々とともに、流域のさらなる安全安心に努めるとともに、地域の発展・魅力ある地域づくりに貢献していきたいと考えています。



砂守ツアーの様子